



☆ 2TW・CW 「第3期介護現場実習」 (平成29年7月1日～7月29日)

目標設定の大切さ

総合福祉学科 2年 橋本 凱人

私は、5週間の長期実習を経験し、自分の弱みがどこなのかに気づくことができました。実習が始まるまでは、5週間は長いな、乗り切ることができるかなどの不安な気持ちが大きく、この実習が「どうすれば自分にとっての成長に繋がるのか」を考える余裕もなく始まってしまいました。ひとりの利用者様と関わり1週間、2週間と過ぎていく中で、利用者様の低下している一つの機能に重点を置いてしまい、自分の視野の狭さに気づくことができました。その気づきから、最後の1週間だけではありましたが、“その人らしい生活”という広い視点で関わることができました。

今回の実習を終えてから私は、日々の生活すべてに対して目標を設定し取り組むようになりまし。実習中は毎日、目標を言葉にして職員に伝える時間が設けられていました。これは、大変という反面、自分が今日何をしたいかを明確にするということに繋がり、自分の弱みに気づけたのも毎日目標を設定していたからだと思。10月にはまた4週間の実習が始まりますが、この実習の前よりもワクワクしている自分がいます。それは、初めての障害者支援施設ということもありますが、なにより今回の実習のようにマイナスから入らないためです。しかし、4期実習は1週間短い期間で介護計画を立案しなければなりません。毎日、目標を立てやりたいことを明確にし、吸収できるものはすべて吸収してきたいと思。ます。

寄り添いながら学んだ5週間

介護福祉学科 2年 三尾 知希

今回の長期実習(5週間)では、特別養護老人ホームへ行かせていただきました。初めてのケアプラン実習であり、「利用者様に向き合い関係が築けるだろうか」、「ケアプランを作成することができるだろうか」、「夜勤実習はどんな感じなのだろうか」などと不安も大きかった一方、楽しみでもありました。

実際この5週間を振り返ると、もがきながらも利用者様に寄り添えたような気がします。利用者様がしっかり意思を持っていらして、その意思を理解しようと努力されていた職員さんの関係の築き方が、たいへん勉強になりました。利用者様のニーズを掴むことが難しかったですが、「その方の残存機能やエンパワメントを引き出せる介護者になりたい」と強く感じ、福祉への視点も幅広く学ぶことができました。また、夜勤実習では、日中の利用者様とは違い、夕食後の生活風景や夜間の過ごし方を見させていただきました。

今回の実習で、介護福祉士としての仕事の喜びや深みを改めて感じてきています。このような学びの機会を与えてくださいました各施設の職員様、利用者様、諸先生方に深く感謝し、また前進していく所存です。

実践から多くを学ぶ! ~「施設実習」特集号~

☆ 3TW 「社会福祉援助技術現場 第5期実習」 (平成29年7月31日～8月25日)

視野が広がった12日間

総合福祉学科 3年 岩本 光司

私たちはこれまで4度の実習を行ってきましたが、今回の第5期現場実習はこれまでの介護実習とはまったく違う内容になるため、それぞれ不安を抱えた状態で実習に挑みました。しかし、そのような状況の中でも、一人ひとり学ぶ意欲を持ち充実した実習を送ることができたのではないかと思います。

私は12日間の中で、特別養護老人ホームだけでなく、相談室、地域包括支援センター、小規模多機能型居宅介護施設といった、さまざまな部署で実習を行わせていただきました。その中でも印象に残っているのは、地域包括支援センターでの実習です。ここでは、民生委員の方と地域住民のお宅訪問・相談を行ったり、S型デイサービスに向いて介護予防の講演や参加者様との交流、地域の高齢者の方々が毎日集まっている商店に訪問し交流を図るなど、さまざまな経験をさせていただきました。これまでは施設という前提があり、その中で暮らす利用者様に目を向けて、介護計画を立案してきました。しかし、地域に出て行くとその方本人だけでなく、家族や地域住民といったその方を取り巻く環境すべてに目を向けなくてはなりません。この点を意識し実習に取り組むことで、利用者様を捉える視野が広がっていくのを感じることができました。

クライアントと家族との関わり方や、各関係機関との連絡調整などの専門的なことを学ぶ中で、ソーシャルワーカーがどのような仕事なのか、はっきりとしたイメージを得ることができました。ソーシャルワーカーは、その人の「人生に大きく関わる職業」です。その責任感をしっかりと背負えるように、さまざまな経験を積み専門性を身につけていきたいと思。ます。



静岡県では、1月1日から数えて774日目にあたる10月20日を、「県民福祉の日」として制定しています!

皆さんも、普段の生活にボランティア活動を取り入れてみましょう!

「静岡県健康福祉大会」が下記の日程で開催されます。 <日時>平成29年10月25日(水) 13:00~16:00 <会場> グランシップ大ホール「海」



☆ 1TW・CW 「第1期介護現場実習」 (平成29年9月4日～9月16日)

後悔から気づけたこと...

介護福祉学科 1年 古谷 風沙

私は、特別養護老人ホーム「加島の郷」での3日間、「フジビューホームヘルプサービス」での2日間の第1期実習を終えました。5日間は非常に不安で、緊張の連続でした。

今回の実習は、コミュニケーションを中心に行いました。コミュニケーションを図ることで「その方の趣味」「その方の昔」等を知ることができました。そこで「コミュニケーションの大切さ」を学びました。

しかし、利用者様全員との関わりはできませんでした。一部の言語的コミュニケーションが図れる方とのコミュニケーションが中心になってしまったことを後悔しています。そのため第2期実習では、「様々な状態の利用者様との関わりが持てるようにしたい」という目標ができました。

介護技術は、入浴、排泄、食事を見学をさせていただきました。介助の大変さ、難しさ等々、見学を通して感じました。後期からの授業で介護技術の知識、技術を身につけ、利用者様が「安心・安全・安楽」に日常生活を送ることができるようになりたいです。

在宅で生活する利用者様との関わりはお宅に伺うことに緊張してしまい、思い通りにできなかったため非常に悔しかったです。「どこで、どのような生活を利用者様がしていても、しっかりと関われるようになりたい」と感じました。

沢山、悔しい思いをしましたが、多くの気づきがあった実習となりました。第2期実習に向けて後期の勉強を頑張りたいと思。ます。

意欲向上は利用者様の笑顔

総合福祉学科 1年 杉山 大夢

私は、2施設の実習を通して利用者様が笑顔になると、意欲が自然に湧いてくることに気づきました。初めての実習、初めての施設に非常に緊張していました。しかし、利用者様とコミュニケーションを図るうちに、笑顔に向けてくださったことで、自分自身の緊張がほぐれ、実習に対する意欲が湧き上がってきました。正直、コミュニケーションを図っていてもなかなか笑顔がみられない方も多くいました。そんな時は、「どうしたら笑顔になってくれるのか...」と会話や、関わりの中で考えながら、コミュニケーションを図りました。すると、利用者様の過去の体験談、お孫さんの話等々、自身に関わりのあること等を話してくださると笑顔になっていることに気づきました。笑顔の方がいると、周りまで明るくなると感じました。

利用者様の生活動作を観ていて、異変にいち早く気づくためには「観察力」を高める必要があると感じました。いつもの様子、状態を知っていれば、違う状態、状況の確認ができ、的確な対応ができると思。います。そのような対応ができるように「観察眼」を養いたいと強く感じました。

そして何より、今回の実習を通して利用者様の生活そのものを支えていると実感できたところは「事故防止の徹底」でした。2施設とも、個々人のADLに合った生活が安全かつ、安心に送れるような工夫がハードもソフトもできていることに気づきました。このような気づき、配慮が生活を支えていると学ぶことができました。

第2期実習に向けてより知識、技術を習得したいと強く感じています。



★ 2MIS 「夏季病院実習」
(平成29年7月24日～8月31日)

夏季病院実習で学んだこと

医療情報秘書科 2年 武田 侑真

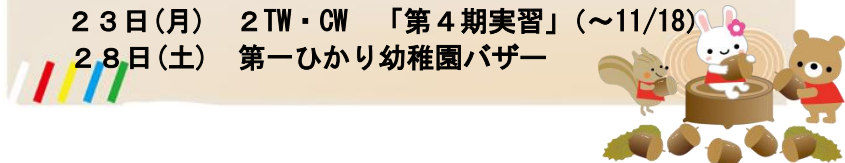
今回、入院設備のある病院で実習をさせていただきました。クリニックでの実習時とは違い患者数がかかるに多いため、どうしても診察までの待ち時間や会計の待ち時間が長くなってしまいます。そんな時でも、患者様が少しでも不安な思いや、いやな気持ちにならないように、窓口立つスタッフの方が丁寧に声掛けをしている姿を見る機会が多々ありました。全ては来院される患者様のために、そういった気遣いや思いやりは本当に大切なことだと改めて感じることができました。また、事務仕事を迅速・丁寧に行うこと以外にも、看護師さんをはじめとした医療従事者との情報共有も大切であるということ学びました。

特に、今回の実習では、仕事内容を覚えることが精一杯だった半年前の実習とは違い、患者様とのかかわり方について学ぶことができたことが大きな収穫です。学んだことをこれからの事前研修に活かし、患者様一人ひとりに思いやりと責任を持って接し、「患者様が心から安心できるような対応のできる医療事務員」になりたいです。



10月の予定

- 2日(月) 入学願書受付開始
2CP「保育実習(施設)」(~10/13)
- 7日(土) オープンキャンパス(13:15~)
第一ひかり幼稚園運動会
- 12日(木) オープンキャンパス(17:00~) ※体験なし
- 15日(日) 情報処理技術者試験
- 17日(火) 秋季スポーツ大会(予備日は18日(水))
- 20日(金) 漢字検定
- 21日(土) 第1回入学選考
- 23日(月) 2TW・CW 「第4期実習」(~11/18)
- 28日(土) 第一ひかり幼稚園バザー



～企画広報室より～

『10月2日より入学願書受付開始!!』

企画広報室 松本 郁世

皆さん、こんにちは！季節でいう「秋」を迎え、急に涼しくなってきましたが、体調管理はいかがでしょう？1年の中での折り返し地点にいますが、残りも悔いなく過ごせるよう頑張りましょう♪

さて本学でも、いよいよ入学選考が始まります。入学選考については、「AO入学選考」「指定校推薦選考」「特待生選考」「一般選考」「自己推薦選考」「社会人入学選考」「留学生選考」があります。

皆さんもこの時期に自分の進路についていろいろと考えたと思います。懐かしいですね。あの時の気持ちを忘れず、是非受験生が来校した際には温かく声を掛けてあげてください。緊張がほぐれると思います。

また、10月以降も毎月「オープンキャンパス」を開催する予定です。進路で悩んでいる方、福祉のお仕事、電子のお仕事ってどんな仕事かなあ、と疑問に思っている方が近くにいましたら、是非オープンキャンパスへ行ってみてと声を掛けてあげてください。

その他、進路決定、実習でのことなど何かありましたら是非広報室へもお話に来てください。個性豊かな広報メンバーがお待ちしています。



★AO 入学選考エントリー締め間近!!

10/7(土)まで!!★

【平成30年度学生募集入学選考出願受付開始】

第1回入学選考：10月21日(土)

指定校推薦選考・特待生選考

自己推薦選考・一般選考

社会人選考・留学生選考

※願書受付 10/2(月)～20(金) 15時まで



～進路室より～

自分で見つける「自分の強み」

進路室長 橋野 幸男

技術の進歩や社会の変化が激しい今日、自分の「強み」をどのように見つけるのか。もちろん、天から降ってくるわけではありません。日々、直面する課題に真摯に取り組み、そして、社会の動向にアンテナを張りめぐらす中で、自分で発見するものではないでしょうか。そうした観点から、最近読んだある方の人生を紹介します。

『警視庁いきもの係』と『警視庁生きものがかり』。前者はフジテレビ放映の、「動物から事件の謎を解く“コミカル・アニマル・ミステリー”」。大倉崇裕氏の原作をもとに、今年9月10日の最終回まで10話を放送。他方、後者は、警視庁生活安全部環境第三係長・福原秀一郎氏の著作。30年近く「絶滅のおそれがある動植物の密輸・売買事件を扱ってきた環境事犯捜査のエキスパート」が、自らの経験を語ったノンフィクションです。

その福原氏は、子どもの頃からの生きもの好きで、一時は獣医を目指したことも。25歳で警視庁巡査を拝命、そして、32歳で捜査員(私服警官)となったとき、上司から次のようなアドバイスを受けます。—「私服になった限りは十八番をつくれ! 何でもいから、これだけは誰にも負けない得意技を持て! … 福原、おまえの歳では、今から贓品の専門になるのは無理だ。若い頃から多くの経験を積まないと成れないものだからな。だから、それとは違う新しい専門分野を探せ!」。そこで私は、常にアンテナを張りめぐらせていました。そんなときに目にしたのが、当時の保安第一課長からの『「絶滅のおそれのある野生動植物の譲渡の規制等に関する法律」の取り締まり要領について」という通達でした。… よくわからなかったので私なりに調べてみたら、自分の趣味である熱帯魚と深く関係している法律であることがわかりました。… 私が捜査員になって初めて自分で見つけた新しいネタ(事件の材料や犯罪のきっかけになるようなもの)とは、この法律に違反していると思われる事案でした。そして、やがて生活環境事犯調査、つまり絶滅のおそれのある動植物の密売や売買事件の捜査が私の十八番になっていくのです。

同氏は昨年、「警視総監特別賞」を受賞。「警察庁指定広域技能指導官」として警察大学校で講義を持ち、また、全国の警察から舞い込む動植物事件の相談役にもなっています。

福原氏は、警察官人生で心の支えとなったもう一つの言葉も紹介しています。座右の銘の「今日の勤めに田草を取る」がそれで、先輩がワープロのキーボードに貼っていた紙に書かれていた言葉だそうです。—「この秋は 雨か嵐かは知らねども 今日勤めに田草取るなり」。気になって出典を調べてみると、江戸時代の農政家・二宮尊徳の歌であることがわかりました。じっくり読み砕けば、尊徳が伝えたかったことの真意が理解できました。「稲を植え、収穫の秋を迎える時に嵐が来て収穫できないかもしれないと心配するより、今はとにかく目の前の雑草を取り除くことが大事。この先どうなるかはわからないけれど、まず目の前のやるべきことに注力せよ!」

いかがでしょうか。これから就活準備に入る皆さんも、学修、課外活動や学外活動という学生生活を充実したものにする、技術・産業・社会の動向を常にチェックする、という日々を送りながら、「これは誰にも負けない」というものを身に付けていってください。

